

三十一 丸々け

貝様のうけいーあはうあはせうを
はくもやとくすまゝ人參甘草
はるあのかー馬の羽入玉積何むや
等々金で縛つて銅へーあ
あつものも銅の火汁と毛ひてあせ
三十二 くるぐん

貝様の事ーの孫乃毛とたて
うらに血をほくやまゝ
紫竹の孫あまうはく